

【ソフト施策と実施主体】

参考資料1

基本方針	個別施策	具体的内容(●:実施中、★:新規)	計画に記載されている主な実施主体								
			陸前高田市観光物産協会	陸前高田市スポーツ協会	陸前高田グリーンスローモビリティ	気仙川漁業協同組合	市民団体	民間事業者	国営追悼・祈念施設管理受託者 祈念公園指定管理者	岩手県	市
【方針1】 「かわ」を活かしてめぐる	① 川沿いの周遊ルートの形成	★徒歩による周遊モデルルートの設定(潮風トレイルとの連携含む)	●				●		●		
		★徒歩利用を推進するためのマップ作成やイベント開催	●				●		●		
		★健康づくりを目的とした徒歩利用の推進(ノルディックウォーキング等)		●			●		●		
	② 自転車などパーソナルモビリティでの周遊	●レンタサイクルの充実(ステーションや導入台数の拡大、ルートマップの充実)	●								
		★祈念公園、川原川公園内の自転車等走行可能ルートの拡大								●	●
		★新たなパーソナルモビリティの導入検討	●								●
	③ グリーンスローモビリティでの周遊	●GSMの運行	●		●						●
		★GSMの利用性向上(台数増強、運行ルート変更、他の交通機関とのアクセス性の向上等)の検討	●		●						●
	④ 花や緑を活かした周遊ルートの魅力向上	★周遊ルート沿いへの桜の植樹					●				
		★周遊ルート沿いへの草花植栽の検討					●				
【方針2】 「かわ」を活かして学ぶ・楽しむ・体験する	⑤ アクティビティの場としての水面利用	★SUP、カヤック等のガイドツアーの実施						●			
		★市民、市内事業者を対象としたインストラクター養成(講座等の開催)						●			
		★インストラクター等による利用指導の実施						●			
		★当該エリアにおけるSUP・カヤック等利用のルールづくり	本協議会で検討・実行								
		★SUP等大会の誘致と開催						●			●
		★祈念公園及び川原川・古川沼の水面利用に関する市民、利用者の意向調査や合意形成	本協議会で検討・実行								
		★小型動力船の運航可能性の継続検討(モニターツアーの試行等)						●			
	⑥ 釣りなどの水辺と親しむ利用	●適正な釣りの推進(ルール、マナー等周知)				●					
		●釣りや気仙川の産物の食に関連するイベント、清掃活動の実施(他団体による実施への協力含む)				●	○	●	○	○	○
	⑦ 川沿いで多彩なレクリエーション利用	●気仙川、川原川、祈念公園等の利用を促すための情報発信							○	●	●
		●複数の主体が連携した利用を促すためのイベント等の開催					●	●	○	○	○
		●BBQ等の火気使用や飲食を伴うイベントの開催					●	●			
		★川原川公園内でのBBQ等収益事業の実施						●			
	⑧ 水辺の自然観察・震災学習利用	●観察会の開催や協力				●	●		●	○	●
		★セルフガイド向けリーフレット、マップ等の作成				●	●		●	○	●
		●学校教育プログラムの一環としての活用									●
		●パークガイド等の継続と後継者の育成	○								●
●水門・防潮堤等の見学会の実施									●		
★デジタル技術を活用し、震災遺構や街並みなど、震災前から現在までの経過がわかるようなコンテンツ等を整備	●					●				●	
【方針3】 かつての利用の復活と段階的な利活用の充実	・震災前に市民に親しまれていたさまざまな水辺利用の復活をめざすとともに、合意形成を図りながら段階的に新たな利用を展開する。										